

参加者募集

平和を希求する福祉を根づかせる

# 第33回日本福祉文化学会全国大会 京都大会

- 1.福祉と文化にご興味・関心のある方
- 2.様々な場で、福祉実践を行っている方
- 3.大学等の研究者の方、福祉専門職の方は非ご参加ください！

2022年10月23日(日)

会場：オンライン京都大会

## 日本福祉文化学会とは？

本来、福祉は「人間としての幸せを求める日常生活での努力」であり、障害や年齢、性差に関わらず、人が人として自分の人生を精一杯生きるプロセスをサポートするものでなければなりません。福祉はどうかあるべきか、また、福祉の積極的な努力の裏りとして、文化を育み、さらに深い味わいのある文化を創り出していくことができるといふ趣旨のもと、1989年に設立されたのが「日本福祉文化学会」です。

## 京都大会のテーマ

新型コロナ第7波の影響で、今年も全国大会を対面で開かないという判断をしました。大会委員長をお引き受けいただいた川北典子さんには、会場予定の大谷大学との交渉などご苦労をおかけしましたが、残念な結果になりました。皆さんとお会いできないことが続いているので、この決断について、すべての会員の皆さんにまずお詫びを申し上げます。

コロナ、自然災害、環境問題など、今私たちの周りには様々な課題が広がっています。中でもウクライナとロシアの戦争には心を痛めている方が大勢おられることだと思います。「平和なくして福祉なし」を謳っている本学会としては、この戦争を他人事と思うわけにはいきません。そこで今回の大会のテーマを「平和を希求する福祉を根づかせる」としました。

そして、大会を象徴する特別講演を、ウクライナ学会会長で、神戸学院大学経済学部教授の岡部芳彦さんにお願いし、また、リヴィウ工科大学のナディア・ゴラル教授(神戸学院大学大学客員教授)にも合わせてのご講演のお願いをしています。

戦争、というより平和を我がこととするために、沖縄の方や北朝鮮の拉致被害関係者、アフガンからの避難者、前の大戦での被爆者など、私たちの身近におられる多くの平和を望む方々を意識しながら、お話を伺いたいと思います。

合わせて学会大会恒例の「研究発表」、会員の皆さんのニーズや参加で作る「分科会」も実施します。オンラインでの参加が主になるので、「現場セミナー」や「交流会」などができないのは残念ですが、たくさんの方の参加を期待しています。

## お問合せ

日本福祉文化学会 京都大会事務局

078-974-1868

jfukushibunaka@gmail.com

〒651-2180神戸市西区伊川谷町有瀬518 神戸学院大学 佐野光彦研究室

日本福祉文化学会京都大会事務局 <https://nihonfukushibunaka.net>

## 学会スケジュール

10月22日(土) 13:00~14:30	オンライン理事会 詳しくは、メール、大会HPまで
15:00~16:00	オンライン総会 詳しくは、メール、大会HPまで
10月23日(日) 10:00~12:00	研究発表 ①英語、②日本語、③日本語
12:45~13:10	開会式、福祉文化実践学会賞授賞式
13:15~15:15	基調講演：岡部芳彦 神戸学院大学経済学部教授・ウクライナ研究会会長 「本当のウクライナ：ロシア・ウクライナ戦争の背景にあるナショナル・アイデンティティ」 特別ゲスト：リヴィウ工科大学 ナディア・ゴラル教授 (神戸学院大学大学客員教授)
15:20~16:35	分科会①座談会「若手が考える 福祉職の魅力と、これからについて」 分科会②障がい者の舞台芸術についての国際比較研究 分科会③福祉文化を「深読み」する 分科会④Withコロナ時代の子どもの遊び場と居場所づくり
16:40~17:00	閉会式
大会参加 (学会員)	すべてのプログラムに参加可能 詳しくは、メール、大会HPまで
大会参加 (非会員)	特別講演のみ参加可能 ZoomID 978 1896 6684 パスワード 634435
ウクライナ募金	事前に学会事務局までご連絡ください 郵便振替口座 ●口座番号 00580-4-48506 ●加入者名 日本福祉文化学会